



## はじめに

市民の皆さんには、日ごろから市のまちづくりに対して深いご理解とご協力をいただき厚くお礼を申し上げます。

平成16年4月1日に旧6町の合併により京丹後市が誕生し、平成26年度は合併満10周年となります。この10周年の記念の節目に符号するように、本市をはじめ北近畿を巡っては、今年以降、産業や社会の抜本的な活性化に欠かせない、京阪神、中京圏、北陸などとの高速交通アクセスの飛躍的な向上が図られる、いわば「北近畿新時代」をいよいよ迎えます。この節目に改めて、経済の発展と社会の活性化を総力をあげて推進するため、市民全員総参加により、市民おひとりおひとり、みんなの力を合わせて未来に進む「和のちからが輝くまちづくり」を様々な分野で推進するとともに、これによって、誰ひとり置きざりにされない、誰もが幸福実感をますます高める「市民総幸福のまちづくり」を着実に進めたいと考えています。

ついては、市の予算は、このような施策を体系的に進めていく行政サービスの大要を定めるものですが、平成26年度の予算に計上した京丹後の仕事の主な内容をわかりやすくお知らせし説明するため、例年に引き続き、平成26年度「わかりやすいことしの予算」を発行することとしました。

この冊子では、図表や写真を活用し、行政用語や専門用語をできるだけわかりやすい言葉で説明するように心がけるとともに、本市に関連する京都府の予算の一部についても、掲載しています。行政と市民の皆さんが力をあわせて、より良いまちづくりを進めるきっかけとなれば幸いです。

平成26年5月

京丹後市長 中山 泰

## 目次

○まちづくりの柱（主な新規・拡充事業）	○平成26年度の主なゼロ予算事業 ……P12
産業の発展と雇用の促進 ……P4	○健全な行財政基盤づくり（主な取り組み） ……P13
京丹後市の特色や魅力を活かした取り組みの推進 ……P6	○平成26年度の主な仕事 ……P14
未来へのまちづくりの振興 ……P8	○平成26年度京都府の主な予算（丹後関連） ……P32
安心・安全のまちづくりの促進 ……P10	○グラフでみるきょうたんの予算 ……P34

表紙写真：峰山高校書道部による市制10周年横断幕（平成26年4月1日 市制10周年記念セレモニーにて）

# 平成26年度予算

市民総参加による「和のまちづくり」と  
市民総幸福の限りない増進と発展を目指す予算

## 一般会計予算

341.9 億円

(対前年度当初予算比 8.9%増)



## 平成26年度会計別予算規模

会計名称	平成26年度当初予算	平成25年度当初予算	平成25年度との比較
<b>一般会計</b>	341億9,000万円	314億円	27億9,000万円 (8.9%)
<b>特別会計</b>			
国民健康保険事業	70億7,400万円	71億2,000万円	△4,600万円 (△0.6%)
国民健康保険直営診療所事業	4億1,400万円	4億2,800万円	△1,400万円 (△3.3%)
後期高齢者医療事業	7億円	6億6,300万円	3,700万円 (5.6%)
介護保険事業	58億1,400万円	55億200万円	3億1,200万円 (5.7%)
介護サービス事業	6億8,900万円	7億3,400万円	△4,500万円 (△6.1%)
簡易水道事業	15億8,300万円	16億9,000万円	△1億700万円 (△6.3%)
集落排水事業	4億300万円	4億3,100万円	△2,800万円 (△6.5%)
公共下水道事業	27億8,500万円	26億9,100万円	9,400万円 (3.5%)
浄化槽整備事業	2億5,100万円	2億2,100万円	3,000万円 (13.6%)
工業用地造成事業	1億9,300万円	1億9,460万円	△160万円 (△0.8%)
宅地造成事業	4,500万円	4,500万円	0万円 (0.0%)
市民太陽光発電所事業	2,670万円	3億8,300万円	△3億5,630万円 (△93.0%)
峰山財産区	640万円	650万円	△10万円 (△1.5%)
五箇財産区	170万円	170万円	0万円 (0.0%)
<b>特別会計合計</b>	199億8,580万円	201億1,080万円	△1億2,500万円 (△0.6%)
<b>企業会計</b>			
水道事業	12億3,593万円	9億8,340万円	2億5,253万円 (25.7%)
病院事業	80億9,305万円	74億9,303万円	6億2万円 (8.0%)
<b>企業会計合計</b>	93億2,898万円	84億7,643万円	8億5,255万円 (10.1%)
<b>京丹後市総合計</b>	635億478万円	599億8,723万円	35億1,755万円 (5.9%)

総額は、前年度当初予算と比較すると35億1,750万円、5.9%の増となっています。一般会計では、27億9,000万円、8.9%の増となります。

**一般会計とは** 市税や地方交付税などを主な財源として、福祉や教育、道路や公園の整備など、さまざまな分野の仕事を行うための会計で、多くの事業やサービスは、この一般会計で行っています。

**特別会計とは** 国民健康保険や公共下水道のように、保険税や使用料などの特定の収入により特定の事業を行うため、一般会計と区分するために設けられている会計です。市では、14の特別会計を設置しています。

**公営企業会計とは** 地方公営企業法の適用を受けて、地方公共団体が経営する水道や病院事業のように、その事業収入により経営を行うために設けられている会計です。